

教育プログラム・コースの概要

大学名等	浜松医科大学大学院医学系研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	がん予防医学研究コース（大学院正規課程）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線技師、医学物理士、理学療法士、作業療法士、検査技師						
修業年限（期間）	医学専攻博士課程 4年 または 看護学専攻博士前期課程 2年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスやディープAI技術を用いて、地域行政や教育機関と連携しながら、以下のがん予防医療や遺伝医療を推進でき、これらの教育も行う人材。 a) 公衆衛生、衛生学、および疫学の研究による予防医療 b) 先進的な画像診断学研究によるがん検診などの予防診断 c) 遺伝学の研究による未発症者へのサバイバルや先制医療 d) 遺伝性腫瘍家系員への意思決定支援や療養支援 						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・医学専攻:必修科目24単位, 選択科目6単位以上、計30単位以上を履修する。 ・看護学専攻:共通科目4単位以上、主領域の特論及び演習8単位、主領域以外の特論4単位以上、特別研究14単位、合計30単位以上を修得する。 ・いずれも担当教員と実地修練の担当者による論文指導を受けた上で、教授会が行う論文審査に合格し学位を取得する。 						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・医学専攻:(必修科目)がん予防医学特論(2単位)、先端基礎医学特論(2単位)、健康社会医学セミナーA(6単位)、健康社会医学セミナーB(6単位)、健康社会医学実習(8単位);(選択科目)疫学方法論(2単位)ほか 3科目(6単位)以上 ・看護学専攻:(必修科目)がん遺伝/ゲノム看護(2単位)、成人看護学特論(4単位)、成人看護学演習(4単位)、特別研究(14単位);(選択科目)共通科目から2単位以上、成人看護学を除く特論4単位以上 						
がんに関する専門資格との連携	臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会)、放射線診断専門医(日本医学放射線学会・日本医学放射線学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた先端基礎医学特論(基礎医学, 公衆衛生, 遺伝学の最新知見を網羅した必須科目)の内容を大幅に見直し、臨床腫瘍学および社会医学に関する講義を加えることにより、がん予防医学に関する幅広い知識の習得を目指すがん予防医学研特論として新たに発展的に拡充する。 ・がん予防医学研特論では、データサイエンスやディープAI技術を基盤とした、多職種・多分野との連携による社会的課題の解決のための医療ビッグデータ解析の手法やデザイン思考を学ぶことができ、予防医療、先進的な画像診断学研究によるがん検診、未発症者へのサバイバルや先制医療、遺伝性腫瘍家系員への意思決定支援や療養支援に生かすことができる。 ・看護学専攻でがん遺伝/ゲノム看護を新たな科目として設置し、がん遺伝学に基づいたがん予防を実践する人材を育成する。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・講義はポストコロナの状況に合わせて対面とオンラインのハイブリッドで実施する。 ・がん予防医学研特論は、令和4年に浜松医大に発足した次世代創造医工情報教育センターの教員による講義が含まれる。 ・本事業の担当教員ならびに本事業で雇用する特任教員、学外招聘教員によるオンライン講義を行う。 						
修了者の進路・キャリアパス	データサイエンスやディープAI技術を用いて、地域行政や教育機関と連携しながら、がん予防医療や遺伝医療を推進する。これらの教育も行う。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		2	2	2	2	2	10
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数及び入学ニーズから毎年度、医学専攻課程1人、看護学専攻1名の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を10人と設定。						